

NEWS RELEASE

会社名 株式会社ティムス
代表者名 代表取締役社長 若林 拓朗
(コード：4891 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 伊藤 剛
(TEL. 042-307-7480)

北海道大学及び金沢大学との共同研究契約締結に関するお知らせ

株式会社ティムス（以下「当社」という。）は、国立大学法人北海道大学（所在地：北海道札幌市、総長：寶金清博、以下「北海道大学」という。）及び国立大学法人金沢大学（所在地：石川県金沢市、学長：和田隆志、以下「金沢大学」という。）との間で、本日、共同研究契約の締結手続きを完了いたしましたので、お知らせいたします。なお、本共同研究の契約期間は2023年10月1日開始となっております。

本契約において、当社は、当社と北海道大学が2023年5月8日付にて締結したオプション契約に基づき、北海道大学が創成した医薬品候補物質の新規医薬品としての可能性を検討するため、北海道大学及び金沢大学と共同で、特定の適応症を想定した薬理評価及び作用機序検討を実施いたします。

当該医薬品候補物質は、パイプライン拡充の一環として、アカデミアを中心に医薬品シーズの探索を行う過程で見出されたものです。特定の疾患モデル動物において強い効果が示されており、また、その薬理作用から対象疾患におけるアンメットメディカルニーズを満たす可能性があると期待し、当社にて新たなパイプライン候補として評価を進めているものです。

本契約の基になった、当社と北海道大学とのオプション契約締結につきましては、創薬シーズや技術の導出・導入の仲介を行う株式会社 Gemseki（株式会社 新日本科学の子会社 <https://www.gemseki.com/>）の支援を受けております。

なお、本件による当社の今期業績に与える影響は軽微であります。

【株式会社ティムスについて】

黒カビ由来の SMTP 化合物群から成る、差別化された革新的なパイプラインを保有するバイオベンチャー。リードパイプラインの TMS-007 は、急性期脳梗塞を適応症としており、前期第Ⅱ相臨床試験において高い有効性と安全性を示し、2021年5月にその権利を米国バイオジェン社に譲渡。後続の新薬パイプラインである TMS-008 は、急性腎障害等を適応症として開発を進めている。また、アカデミア等の研究をグローバルの医薬品市場に展開することを目指し、主に国内のアカデミアの早期開発段階の創薬シーズに着目し、新規パイプラインの拡充を図っている。

詳細は当社ウェブサイト (<https://www.tms-japan.co.jp>) をご覧ください。